

令和 4 年 6 月 1 日

令和 3 年度 事業報告書

学校法人 織田学園

1. 法人の概要

(1) 教育理念

社会に必要なとされる人材を育てる学園、
そして学生が明るく楽しく学ぶ学園を目指します

(2) 生活理念

「低賞感微」(低姿勢、賞賛、感謝、微笑)

(3) 学園の主な沿革

昭和 22 年 5 月	「文化洋裁教室」を設立
昭和 24 年 11 月	各種学校として、東京都認可校となる
昭和 32 年	「織田文化服装学院」と校名変更
昭和 34 年	きもの学院設立
昭和 40 年 10 月	学校法人織田学園認可
昭和 43 年 4 月	「織田調理師専門学校」設立認可、厚生大臣の指定校となる
昭和 44 年	「織田きもの着付教室」開講
昭和 51 年 4 月	「おだ学園幼稚園」を設立開園 寄付行為を変更、準学校法人から学校法人に変更
	9 月学校教育法の一部改正により、「織田文化服装学院」を「織田服飾デザイン専門学校」に、「織田きもの学院」を「織田きもの専門学校」と改称し、それぞれが専門学校に昇格 織田調理師専門学校も新制専門学校として許可
昭和 55 年 4 月	ファッションビジネス科新設
昭和 55 年 11 月	織田服飾デザイン専門学校、織田きもの専門学校および織田調理師専門学校の無料職業紹介所開設許可(労働大臣許可)
昭和 56 年 4 月	「織田栄養専門学校」設立許可、厚生大臣の指定校となる
昭和 56 年 5 月	学園創立 35 周年記念式典開催
昭和 58 年 5 月	織田栄養専門学校の無料職業紹介所開設許可
昭和 58 年 12 月	織田服飾デザイン専門学校、フランスのエコール・ド・ラ・クチュール・パリジェンヌ服飾学校と姉妹校提携
昭和 63 年	「織田服飾デザイン専門学校」を織田デザイン専門学校に改称
平成 3 年	織田栄養専門学校、文部省職業高度化開発研究委嘱校となる

平成 9 年 7 月	織田学園創立 50 周年感謝の会開催
平成 10 年 1 月	「織田製菓専門学校」設立認可
平成 10 年 2 月	「織田福祉専門学校」
平成 10 年 4 月	「織田製菓専門学校」「織田福祉専門学校」開校
平成 11 年 4 月	織田福祉専門学校に居住ケアデザイン学科を新設 「織田きもの専門学校」創立 40 周年 調理校、製菓校がフランスのエコール・オトゥリエール・ジャン・ド ウルヴァン校、セプロック校と姉妹校提携
平成 14 年 4 月	東京都認証保育所「おだっこ園」開園
平成 14 年 5 月	織田学園創立 55 周年
平成 15 年 4 月	織田福祉専門学校に居住ケアデザイン学科を福祉環境ビジネス学科 に改編
平成 18 年 4 月	服飾研究科新設
平成 19 年 5 月	織田学園創立 60 周年
平成 20 年 4 月	「織田デザイン専門学校」を「織田ファッション専門学校」に改称
平成 22 年 4 月	幼稚園・保育園を多摩市落合に移転し、おだ認定こども園（幼保連携 型認定こども園）を開設
平成 22 年 7 月	織田福祉専門学校を閉校
平成 29 年	織田学園創立 70 周年
平成 29 年	調理師校がパリのメデリック”ECOLE JEAN DROUANT”(ドゥルアン 校)と姉妹校提携
令和 3 年	「おだ学園」保育園開園

(4) 設置する学校・学科等 (令和 4 年 3 月 31 日時点)

(単位：人)

学 校	学科・専攻等	収容定員	在籍者数
織田ファッション専門学校	ファッションデザイン科	80	24
	ファッションテクニカル科	80	36
	ファッションデザイン専攻科	30	7
	ファッションテクニカル専攻科	30	9
	ファッションビジネス科	80	20
	スタイリスト科	80	35
	マーチャンダイジング専攻科	20	4
織田きもの専門学校	きもの科	100	55
	きもの専攻科	50	25

織田調理師専門学校	調理師科	60	21
	調理技術経営科	80	70
	調理製菓製パン科	60	45
織田製菓専門学校	コンフェクション1年制	160	7
	ベーカリー&スイーツ	40	6
	コンフェクション2年制	40	35
織田栄養専門学校	栄養士科	240	24
おだ認定こども園	1号認定		
	満3歳	10	2
	3歳	53	38
	4歳	53	32
	5歳	54	40
	2・3号認定		
	0歳	6	6
	1歳	18	18
	2歳	19	19
	3歳	25	22
	4歳	26	28
	5歳	26	29
おだ学園保育園	0歳	6	6
	1歳	10	10
	2歳	11	11
	3歳	11	11
	4歳	11	5
	5歳	11	1
合 計		1580	701

2. 事業の概要

当該年度の事業項目	事業の概要
織田ファッション専門学校	教育面では業界が求める最新技術を身につけるための授業を設置した。具体的には、ファッションデザイン・テクニカル科の3DCADによるCG、ファッションビジネス科のSNSブランディングがそれにあたる。

	<p>就職面では昨年と比べ、業界として求人数も回復傾向にあり、その流れに乗って希望通りの就職を実現した学生が多くいた。</p> <p>学校行事は感染症の影響により残念ながら実施できないものが多かった。</p> <p>学生募集の成果は前年度を大きく上回った。WEBコンテンツの充実や適切な広告配信、学生たちによるオープンキャンパスの協力が主要因となったと推察される。</p> <p>その他、外部のデザインコンテストで優秀な成績を収める在校生もいた。</p>
<p>織田きもの専門学校</p>	<p>教育面では前年より引き続き、きもの関連企業とのコラボレーションを実施し、実践的な教育機会を提供している。今年度はきものサローネなどに参画した。</p> <p>就職面では内部進学希望者と進路変更希望者を除き、概ねきもの業界に内定し就職した。例年通り、業界は同じものの職種や業態は学生によって様々である。</p> <p>学校行事は感染症の影響により残念ながら実施できないものが多かった。</p> <p>学生募集の成果は前年と比べて芳しくなかった。その理由としては、真っ先に感染症による地方からの出願者の減少が挙げられる。</p> <p>その他、メンタルに問題を抱えている学生に対してサポートを行い、保護者との連携を図った。</p>
<p>織田調理師専門学校</p>	<p>教育面では感染症による影響が大きかった前年と比較し、例年通り問題なく授業を実施することができた。</p> <p>就職面では進路変更希望者を除き、概ね飲食業界に内定し就職した。業界は同じものの業態は学生によって様々である。ひとりひとりの希望に合わせ、適切なサポートを行った。</p> <p>学校行事は感染症の影響により残念ながら実施できないものが多かった。</p> <p>学生募集の成果は前年と比べて芳しくなかった。その理由としては、感染症によって飲食業界が打撃を受け、業界自体の志望者が減っていることと推察される。</p> <p>その他、食品ロスの防止やエネルギー制約など、SDGsの推進に関するカリキュラムの実施を検討し始めた。</p>

<p>織田製菓専門学校</p>	<p>教育面では感染症による影響が大きかった前年と比較し、例年通り問題なく授業を実施することができた。</p> <p>就職面では進路変更希望者を除き、概ね製菓・製パン業界に内定し就職した。業界は同じものの業態は学生によって様々である。ひとりひとりの希望に合わせ、適切なサポートを行った。</p> <p>学校行事は感染症の影響により残念ながら実施できないものが多かった。</p> <p>学生募集の成果は前年と比べて芳しくなかった。オープンキャンパスからの取り込み率が思うように上がらなかったのが主要因であると推察される。</p> <p>その他、食品ロスの防止やエネルギー制約など、SDGsの推進について学校全体で取り組んだ。</p>
<p>織田栄養専門学校</p>	<p>閉校前の最終年度だった。無事最後の卒業生たちを栄養士として送り出した。</p> <p>就職面では進路変更希望者を除き、概ね栄養士職に内定し就職した。業界は同じものの業態は学生によって様々である。ひとりひとりの希望に合わせ、適切なサポートを行った。</p>
<p>おだ認定こども園</p>	<p>感染症対策に格別の注意を払いつつ、遊びを通じた子ども達の「体のたくましさ」の向上に注力した。</p> <p>職員一人ひとりの保育・教育能力向上のため、計画的に園内外の研修に参加し、スキルアップに努めた。</p> <p>直接保育・教育業務以外の教職員の業務負担を軽減するために、積極的に ICT を採り入れ、活用している（LINE WORKS 等）。</p>
<p>おだ学園保育園</p>	<p>開園初年度ということで、まずは年度と通じて安定的な保育活動のルーティーン構築に努めた。</p> <p>地域の保育ニーズの把握に努めた。</p> <p>WEB サイトを開設し、情報発信に努めた。</p> <p>保護者の参加できるイベントや講演等を開催し、保護者と園の関係性を深めた。</p>

以上